

授業時間外学習の取り組みについて

保健体育講座・上田敏子

1. 授業の概要

本授業は、保健体育科教育法のうち、特に中学校および高等学校の保健科教育の内容について学習する授業である。授業時間外学習を促進する取り組みとして、感想文レポートの課題、主体的に取り組む教材の体験、模擬授業の実施を試みた。

2. アンケート結果

授業の 14 回目にアンケート調査を実施した。回答数は 27 名（回収率 81.8%）であった。アンケート結果について表 1 にまとめる。アンケートでは、時間外学習に関する質問として、5 つの項目を設けた（下記、アンケート項目参照）。また、授業の進め方等についての要望について自由記述により回答を求めた。

その結果、すべての項目において肯定的な回答（「強くそう思う」、「そう思う」）が半数以上であった。ただ、Q1 では予習や復習について尋ねているが、「そう思う」（56%）、「あまりそう思わない」（40%）であり、予習・復習が十分に行われていない現状が明らかとなった。

Q2 は、の感想文レポートについて尋ねており、「強くそう思う」（19%）、「そう思う」（54%）であった。感想文レポートは授業内容の感想を次週までの宿題とするものであり、B5 用紙 1 枚を課している。レポートでは、指導内容の理解について学んだことや模擬授業の発表についての感想、意見を論理的に書くよう指導している。分量としては、多いものではないが、宿題とすることで授業時間外の学習を促進することにつながったと考えられる。

Q3 は、能動的に授業に取り組むことができたかについて自己評価する内容であり、「強くそう思う」（15%）、「そう思う」（63%）であった。授業では、保健の学習内容について、指導要領の理解と教材について紹介し、実際に教材に取り組む機会を設けた（ex. フレインティングやロールプレイング）。また、模擬授業の発表の回では、模擬授業についてグループで意見を

出し合う活動も取り入れた。こうした活動を多く取り入れたことによって、学生の主体的な学びを促進したと考えられる。

Q4 および Q5 は模擬授業に関わる授業時間外の学習状況について尋ねている。その結果、肯定的な評価が高かった。模擬授業は学生を 5~6 名の 6 グループに分け、30 分の授業を行うものである。今年度は、中学校および高等学校の保健の内容について、各グループ 2 回の模擬授業を割り当てた。模擬授業にあたっては、指導計画の作成からワークシートの準備などが必要であり、授業時間外の学習を促進することにつながったと考えられる。

<アンケート項目>

Q1 授業時間外に本授業の予習や復習ができましたか？

Q2 感想文レポートの出題は授業時間外の学習を促進しましたか？

Q3 本授業では、能動的に授業に取り組むことができましたか？

Q4 模擬授業の実施は自主的な学びに有効でしたか？

Q5 模擬授業の準備のため、授業時間外の学習時間が増えましたか？

表 1 アンケート結果

	強くそう思う	そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
Q1	0(%)	14(56%)	10(40%)	1(4%)
Q2	5(19%)	14(54%)	6(23%)	1(4%)
Q3	4(15%)	17(63%)	5(19%)	1(4%)
Q4	5(19%)	19(73%)	2(8%)	0(0%)
Q5	17(65%)	8(31%)	1(4%)	0(0%)

3. 総括

今回のアンケート結果では、概ね授業時間外学習が実施されている現状が明らかとなった。今後は、予習・復習の時間を促進するための指導を工夫し、主体的に授業に取り組める授業づくりを検討していく必要がある。